

志免町小中学校施設の耐震診断結果一覧表

平成29年4月現在

番号	学校名	建物区分	構造	階数	保有面積(㎡)	建築年	診断の種類	Is値	補強年度	備考
1	志免中央小学校 【耐震化事業完了】	校舎(管理棟)	R	3階	2,772	S50	2次診断	0.35	H19	補強後のIs値(0.76)
		校舎(北側棟)	R	3階	2,556	S50	2次診断	0.45	H20	補強後のIs値(0.74)
		校舎(特別教室)	R	3階	569	H20	—	—	—	新耐震基準
		体育館	R	2階	1,131	S52	2次診断	0.85 (0.22)	H21	屋根版落下防止補強 補強後のIs値(1.84)
2	志免西小学校 【耐震化事業完了】	校舎(管理棟)	R	3階	3,535	S47	2次診断	0.36	H23	補強後のIs値(0.76)
		校舎(南側棟)	R	3階	1,550	S47	2次診断	0.56	H24	補強後のIs値(0.72)
		校舎(南側増築部)	R	3階	1,411	H15	—	—	—	新耐震基準
		体育館	R	2階	1,025	S49	2次診断	0.63	H25	補強後のIs値(0.87)
3	志免東小学校 【耐震化事業完了】	校舎(管理棟)	R	3階	1,957	S48	2次診断	0.4	H24	補強後のIs値(0.72)
		校舎(普通教室棟)	R	3階	2,921	S48	2次診断	0.4	H25	補強後のIs値(0.72)
		体育館	R	2階	1,101	S55	2次診断	0.35	H26	補強後のIs値(0.74)
4	志免南小学校 【耐震化事業完了】	校舎(管理棟)	R	3階	3,854	S52	2次診断	0.54	H25	補強後のIs値(0.74)
		校舎(南側棟)	R	3階	1,808	S53	2次診断	0.56	H26	補強後のIs値(0.71)
		体育館	R	2階	1,098	S53	2次診断	0.21	H27	補強後のIs値(0.80)
5	志免中学校 【耐震化事業完了】	校舎(管理棟)	R	3階	3,454	S45	2次診断	0.53	H22	補強後のIs値(0.74)
		校舎(北側棟)	R	3階	2,811	S47	2次診断	0.41	H23	補強後のIs値(0.71)
		体育館	R	3階	2,254	S49	2次診断	0.44	H24	補強後のIs値(0.70)
6	志免東中学校 【耐震化事業完了】	校舎(管理棟)	R	3階	2,448	S56	2次診断	0.32	H26	補強後のIs値(0.71)
		校舎(西側棟)	R	4階	1,818	S55	2次診断	0.39	H27	補強後のIs値(0.71)
		校舎(東側棟)	R	4階	473	S55	2次診断	0.46	H27	補強後のIs値(0.70)
		校舎(特別教室)	R	2階	475	S59	—	—	—	新耐震基準
		体育館	R	3階	1,782	S55	2次診断	0.13	H28	補強後のIs値(0.70)

◆ 耐震診断の見方

【建物区分】

表中の《管理棟》とは、職員室・校長室・放送室をはじめとする学校運営の中心になる諸室が集まる棟を言います。

【構造】

R：鉄筋コンクリート

【耐震診断の種類】

<第1次診断>

鉄筋コンクリート建物の柱や壁の断面形状、鉄筋量の詳細、材料強度から算定する簡易な診断方法。建物の耐震性を簡易に評価・判断することにより、個々の建物の大まかな耐震性を把握します。

※国土交通省告示等によれば、 I_s 値が 0.8 以上の場合、耐震性能がある建物となります。

<第2次診断>

耐震補強内容を検討し、設計を行うための詳細な診断方法。

※ 国土交通省告示等によれば、 I_s 値が 0.6 以上の場合、耐震性能がある建物となります。

なお文部科学省では、補強後の I_s 値はおおむね 0.7 を超えることとしています。

【 I_s 値】

第1次診断または第2次診断の結果、地震に耐えられる能力としての建物の強さ、地震の力を受け流す能力としての建物の粘り強さの二つに、建物の形状・経年化を考慮して、耐震診断基準による計算式により求められます。

[I_s 値の目安]

I_s 値 0.3 未満	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い
I_s 値 0.3 以上 0.6 未満	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性がある
I_s 値 0.6 以上	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性が低い

※ 大規模な地震とは、震度 6 強から震度 7 程度の地震を想定しています。